



全町連だより

第21号

町内会加入率調査 (R3年11月末)

人口… 22,990人 加入世帯…… 4,374世帯
 総世帯… 11,385世帯 町内会加入率… 38.42%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ（生活環境）にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます（<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>）

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111（内線220）



皆さんは、新年を穏やかに迎えられた事とお慶び申し上げます。また日頃より、町内会活動にご協力いただきありがとうございます。

過年は、世界中がコロナ禍で混乱した一年ではありましたが、中標津町では他町よりワクチン接種が順調に進み、コロナ専用の入院病床が増え、また入院に関する情報も逐一発信され、おかげ様で不安ながらも、穏やかに過ごすことが出来たと思います。一昨年の町内会による次亜塩素酸水配布、昨年は町民有志による医療関係者応援の花火が打ち上げられました。大変な時こそ、支え合い、協力し合つて乗り越えて行く事の重要性を改めて感じました。町内会では隣近所との親睦を図りながら安心・安全な住みよいまちづくりを進めるために防災・防犯・福祉・環境美化・広報等様々な活動を行っています。

残念ながら、活動を支える住民の加入数は減り続け、4,400世帯となりました。加入数を増やすため、行政・議会とも協力しながら活動を行ってきましたが、未だ大きな効果は上がっていません。しかし逆に考えると、4,400世帯の会員は共に助け合う心があり、活動を続けていただける大事な会員です。

皆さんの日頃の活動に感謝しますとともに、会員のメリットになるものが何か出来ないかと各団体と模索しています。地域住民・団体の皆様には、改めて共助の大切さを理解していただき、ご協力していただきたいと思います。



2021年の
新年を迎えて

中標津町全町内会連合会

会長 佐々木 優

あいさつ、
みまもつけあい
こども安心の
みまもりを
こころがけ
こまめに行う

すみよいまちづくりのため、
“共助”団体として交流を深めた懇談会

11月12日 中標津町総合福祉センターに於いて、当会と社協（中標津町社会福祉協議会）との懇談会を開催しました。

この会議は、正・副会長・総務部長会議（10/12開催）において、町内会加入世帯が40%を切る現状で、社協の会費（年500円/1世帯）の集金作業を町内会が担っており、“お互いの事業内容を知り・協働できる活動が出来ないか”との意見により開催する運びとなりました。

町民（世帯）減少と町内会加入率低下による活動財源の減少は共通の課題とし、社協は子供・老人・障がい者を対象とした活動が多く、町内会は環境整備や子供会・老人クラブの育成等で、多額の会費を負担いただいている勤労者（特に、若い世代）に対しての活動が少なく、理解を得られるようなPRが希薄で、予算がないのでこの程度の活動しか出来ない等の消極的意見が出たなかで、財源（収

入）の変動で活動規模（支出）を決めるのではなく財源（金額）に応じた事業（活動）規模を提示し、財源確保のためクラウドファンディングを募れる企画を考えたとの、建設的意見もありました。

終わりに、●社協に町内会加入申し込み書を常設する。●社協の新たな活動（ともぞうクラブ）を町内で積極的に利用する。●5年前から休止している民協（民生・児童委員協議会）との3者交流に役場を交えた懇談会を開催することを申し合わせ、盛会裏に閉会することができました。



令和3年度 ブロック別

町内会活動研究大会開催

…コロナ禍、初オンライン開催…

10月29日（金）北海道町内会連合会主催で14時から2時間半開催されました。例年は、道内4ブロックの地域ごと1泊2日での開催でしたが、合同・オンライン開催となりました。札幌の会場と参加者が87台のパソコンでつながり、画面越しに48組織317名の顔が確認でき、当会は自宅等から6名が参加しました。

「住民主体の支え合い、安心して暮らせる地域づくり」をテーマに近畿大学 松本行真教授の講演の後、①「コロナ禍で絆を育む町内会活動（苫小牧市拓勇東町内会）②インターネット回覧版で地域の活性化（千歳市町内会連合会）③広域連合自主防災会が災害に立ち向かう室蘭市町内会連合会」3件の実践者報告があり、コロナ禍でも、「ドライブスルー」による長寿を祝う会やインターネット上でつながりをもてるよう、パソコン操作を何



パソコン画面で見た札幌会場

度も教え合いながら情報共有し発信していくなど、前向きな発表が主でした。

令和3年度 第3回女性部研修

「コロナ禍に負けない子ども達を育てるポイント」をテーマに開催

全町連女性部長 端 裕子

11月5日午後7時〜ウエディングプラザ寿宴に於いて、子育て応援クリエイター 水野正司氏を講師にお招きしお話を聞きました。

「児童生徒の自殺が増加している、私達に出来ることは何か」との問いに講師は「困難を乗り越える力が必要」、子供に接する事と語り、小学校12歳までの子育てが重要であり、●0歳のキープポイントは愛着形成↓泣いたり・目くんだり・抱き付く時にはかまってもいいサインなので、十分抱っこして「かまってる」あげる。これが人生の土台造りになる。●1〜5歳は、目一杯遊ばせ、お腹すいた？・気持ち悪い？などと言葉にして話かける。安心して熱中するよう遊ばせ、よく眠る事がメンタルを強くし困難を乗り越える力に繋がる。●6〜12歳は、小さな「つまづき」を沢山乗り越えさせる。10のうち1つくらいは失敗しても良いので、自分で決めさせる事で大きな「つまづき」を乗り越えるようになり、挫折に強くなる。この女性部の勉強会をきっかけに、前記事柄を参考に「幸せの子育てマップ」を制作する等、「コロナ禍に負けない・将来の格差や挫折を予防できる子育てについて勉強しました。」



私たちの町内会③⑥

白樺町内会会長 小上 清弘

白樺町内会の現在の会員数は199件です。残念ながら、ここ数年その数は少しかり減る傾向にあります。加入率を下げないよう頑張っております。

町内会では、ごみ収集の効率化を図るため一定の区域にごみステーションを設置し、最寄りのゴミステーションにそれぞれの会員が運び入れるという町のモデル事業に協力しております。また、春の一斉清掃、防災訓練、町内会役員による冬の防犯見回り、子供育成部と環境衛生部合同による古紙回収も実施しております。町内会の楽しい行事としては、お花見会。中標津神社祭に並行して町内会独自で実施する子ども



サマーフェスティバル



餅つき大会

みこし。毎年200人以上参加いただくサマーフェスティバル、敬老会、餅つき大会など各部の垣根をなくし一致団結して取り組んでいます。昨年と今年はコロナ禍のために飲食を伴う行事が全て中止となりました。来年こそは、町内会にとってもいい年になるよう祈るばかりです。

私たちの町内会③⑦

上標津町内会会長 後藤 順

私たちの町内会は、中標津町管内の西部で純農村地帯にあります。会員は27戸（内酪農家は12戸）で、例年の活動としては、近隣会員による上標津会館（上標津小学校の昭和51年閉校に伴い会館へ改装）の日常管理、会館東側に鎮座する上標津神社を含めた周辺の全戸で行う環境整備（春・秋2回）、神事及び親睦会を兼ねた神社祭とパークゴルフ大会・忘年会・老人クラブ助成（長寿会・令和2年解散）に加え、「葬儀手伝いの申し合わせ」を内規に定めて町内会一同での葬送と搾乳作業に負担が掛からないようにする等、会員相互の親睦と研鑽を目的とし地域の発



古くてもいつもきれいな上標津会館



春の環境整備

展を図っています。また、地区開基50周年（昭和53年）から会館・神社周辺の記念植樹を10年毎に行っており、新型コロナ禍で90周年を迎えた今、飲食を伴う集りが出来ない状況で記念行事をどのようにするか？？早く収束することを願う毎日です。